

令和元年度 第1回 飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和元年10月29日（火）9：00～11：25

場所：市役所 C311～C313会議室

出席者：下平会長、小林委員、林（郁夫）委員、伊藤委員、吉岡委員、大前委員、森下委員、稲垣委員、西塚委員

木下行財政改革推進本部長、寺澤総務部長、塚平財政課長、土屋人事課長、田中企画課長

欠席者：林（孝圭）委員、宮内委員、中山委員、篠田委員

1 開会

2 あいさつ

（木下本部長）

少子化、高齢化、人口減少の一極集中が続いている中で、地方は大変苦しんでいる。日本中で、人口の奪い合いのようなことが続いており、ふるさと納税についてもそういった競争が激しくなっている。今後、地域間格差がさらに大きくなるのではと考える。飯田市としては、こういった流れの中でも、しっかり取り組みをしていかなければならない。持続可能な戦略的な地域づくりということが必要であり、いいだ未来デザイン2028にあるように、計画に基づいて進めている。

インフラの老朽化などから、財政的に非常に厳しい状況が到来する。行財政改革は、今後においても継続的にしっかり取り組む必要がある。現行の行革大綱が来年度末で終了ということであり、来年度からの新しい行革大綱を作っていかなければならないということで、ご意見を賜りたい。行革は難しいテーマが多く、私どもも悩みながら進めている。様々なご意見をそれぞれの立場からいただければ幸い。本日は特に、指定管理に関することについてご意見を賜りたい。今後公共施設マネジメントの取組についても、方向性の整理等考え方を示させていただき、ご意見をいただきたい。よろしく願いたい。

3 会長等の選考

会長及び職務代理者の選出について

会長の選出 事務局案により下平勝熙委員に決定

（下平会長）

会長としてみなさまと一緒に議論をしながら、よりよい飯田市の行財政改革の推進ができればいいと思っている。いろいろ協議を重ねていただいて、意見をしっかりまとめていきたい。みなさまのご理解とご協力を賜るようお願いしたい。

私自身、この委員会は初めてで要領がわかっていないが、飯田市の行財政改革や財政については、いくらかの知識は持っているつもり。そういう点も考慮しながら委員会を進めていきたい。行財政改革という言葉は、多分私の認識の中では、小さな政府という言葉があったわけだが、その中の流れで行財政改革が特に強調されて、運営されてきたように思っている。職員も大分減ってきている状況もある。つい最近の災害の時でも、災害の状況把握に大分時間がかかったということがあり、職員が減ってきたからというご意見もある。いろいろな点で総合的に判断しながら進めていきたいと思っている。労働分野の出身なのでそういう点も踏まえながら進めていきたい。役割を果たしていきたいと思うのでよろしく願いたい。

会長職務代理者の選出 条例に基づき会長の指名により、西塚洋子委員に決定

4 現況説明

(1) 飯田市行財政改革大綱について

飯田市行財政改革大綱の概要 資料 1-1

飯田市行財政改革大綱 資料 1-2

飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画 資料 1-3 【塚平財政課長説明】

※質問なし

(2) 指定管理者制度について

指定管理者制度の概要 資料 2-1

指定管理者制度導入施設一覧 資料 2-2 【塚平財政課長説明】

※質問なし

5 協議事項【議事進行：下平会長】

令和元年指定管理協定期間終了施設の実績評価に対する意見聴取について 資料 3

No.1 飯田市地域資源総合管理施設天龍峡活性化センター 【松村農業課長補佐説明】

(西塚委員)

加工所があるが、現在使用できるのか。

(松村農業課長補佐)

加工ができる部屋がある。地元の方が中心に、五平餅を作ったり漬物の加工に使用している。

(西塚委員)

地元の方以外も、申し込めば使えるということか。

(松村農業課長補佐)

利用料金が決まっている。地元ということではなく、市内の方なら使える。

(下平会長)

難しいところもあると思うが、運営という点でマイナススペースを改善するよう努力していただきたい。

No.2 飯田市南信濃木沢都市山村交流促進施設 【土屋ムトスまちづくり推進課長説明】

(下平会長)

交流人口が非常に多い感じがしている。地域の皆さんも高齢に関わらず努力されているということで評価ができる。

No.3 飯田市立動物園 【岩崎公園緑地係長説明】

(小林委員)

全体としていいと思う。生き物なので管理が大変だと思う。新しい動物を入れるとか更新する場合は、指定管理料とは別なのか、この中に含まれるか。市の別の予算から購入するのか。

(岩崎公園緑地係長)

指定管理者の負担は軽微な補修のみを行ってもら。動物の購入は、指定管理者と協議して市で負担する。

(下平会長)

入場料をとらないので運営が大変だと思う。

No.4 平成記念飯田子どもの森公園 【岩崎公園緑地係長説明】

(小林委員)

環境文化教育機構株式会社は、市内だけではなく幅広く扱っている会社か。

(岩崎公園緑地係長)

飯田市だけではなく、いろいろな施設の管理やイベントをやっている。市内の業者ではない。

No.5 飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館 【馬場文化財担当課長説明】

※質問、意見なし

No.6 飯田市今田人形の館 【山崎人形劇のまちづくり係長説明】

(小林委員)

非公募というのは、公募をしないでここにお願いするという意味か。

(山崎人形劇のまちづくり係長)

公募をしないということ。

No.7 飯田市黒田人形浄瑠璃伝承館 【山崎人形劇のまちづくり係長説明】

※質問、意見なし

【塚平財政課長追加説明】

主管課から施設の状況や管理の状況を説明しているが、本来指定管理施設は公募が原則で、理由があれば非公募も認める。今まで説明があった施設でもいくつか非公募の理由の説明もあったが、そこを確認していただければということと、財政運営もそうだが、この制度を活用してどういった効果があったかということが裏面にも記載してある。課題の記載もあるので、現状指定管理がどのように行われていて、それが健全な施設運営になっているかどうかという観点で見ただけだとありがたい。

私どもとしては、方針をこうしたいということで今回ご説明している。これまでどういったことをやってきたかという効果と、今後どういった方針でやっていくのかを見ていただければ。合わせて非公募の場合はその団体がふさわしいかどうかを見ていただければありがたい。

No.8 飯田市大平宿生活原体験施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No.9 飯田市保健休養施設 【宮沢観光課副参事説明】

(伊藤委員)

2-(3)-1、(3)-2に、「現在、施設のあり方を地域のみなさまと協議しているため」という記載があるが、この場所の西側に県の企業局が分譲した別荘地がある。別荘地の購入者はかなり高齢化してきて住所を持ってきている方がかなり増えつつある。孤立化している集落になる場所がある。そこの方々の調整もしていただきたい。

(宮沢観光課副参事)

別荘地の管理組合の事務的な業務も観光課が担当しているので、適切な聞き取りをさせていただきたいと思っている。

No.10 飯田市上村簡易宿泊施設高原ロジ下栗

No.11 飯田市上村しらびそ高原施設

No.12 飯田市上村大島河原河川公園

No.13 飯田市上村大平公園

No.14 飯田市上村農産物直売施設上村特産品直売所

No.15 飯田市上村農産物直売施設はんば亭

No.16 飯田市上村農産物直売施設村の茶屋

No.17 飯田市上村若者センター

No.18 飯田市農産物加工施設上村農産物加工施設 【宮沢観光課副参事一括説明】

(大前委員)

新しい指定管理者の株式会社大空企画について、まだ始まった最中ではあるが、経営面でのノウハウは確認されているということによいか。

(宮沢観光課副参事)

飯田市として定期的に状況を確認する必要があるので、法人の経営会議に同席させていただき、状況を把握しているところ。

(小林委員)

今まで飯田市は何回も合併している。その中でだんだん整理ができていると思うし、遠山郷の合併協議でどういう話だったかわからないが、説明によると農産物販売施設がお土産屋で、農産物加工施設が飲食店のような位置づけになっていると思う。そろそろ整理統合や売却も考えていったらいいか。農産物販売所も近くに複数あったりする。統合とか売却とかの整備をこれからできるだけ早くしていただけた方がいい。

(宮沢観光課副参事)

上村、南信濃地区の施設については、全ての施設について優先検討施設に位置付けており、今年度末が方針決定の目標となっている。ご指摘のような方針も飯田市として持ちながら考えているところ。

(下平会長)

最終的には運営方針として、民間へ経営移譲とか施設を廃止するとか公的管理に切り替えるとか、判断をしなければならないということだろうと思う。ご意見を踏まえて検討をお願いしたい。

No.19 飯田市南信濃八重河内特産物加工施設

No.20 飯田市南信濃簡易宿泊施設

No.21 飯田市南信濃広場等利用施設 【宮沢観光課副参事一括説明】

※質問、意見なし

No.22 飯田市南信濃南和田特産物等販売施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No.23 飯田市南信濃木沢特産物等販売施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No.24 飯田市南信濃地域農産物等活用型総合交流促進施設及び飯田市南信濃温泉交流施設

【宮沢観光課副参事説明】

(下平会長)

フグを導入してから時間がかかっているが、順調にいきそうか。

(宮沢観光課副参事)

フグについてはいろいろ苦労したこともあったが、今はある程度確立して育てている。ただ、規模的にたくさんは飼えないので、採算を取るのはなかなか厳しい状況にあると認識している。

(林郁夫委員)

財務状況からいって3年間赤字になっている。ここ2年は1,000万円くらいの赤字になっているということは、事業としての存続性が欠如していると考え。そういう中で施設の老朽化という課題があるとすると、放っておいてはいけないと思う。指定管理とは別になると思うが、きちんと事業計画、再生計画を作って、ほかに例えば利用収入が上がるような何か新しいものを取り入れるなりして、一つの事業として完結するように計画を立ててやっていくべきではないかと思う。

(宮沢観光課副参事)

経営については大変心配している。私どももしっかりチェックをしながら指定管理者と一緒に考えていきたい。

No25 飯田市南信濃森林林業情報発信施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No26 飯田市南信濃便ヶ島森林公園施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No27 飯田市南信濃陶芸館 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No28 飯田市南信濃野外体験学習施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No29 飯田市南信濃和田特産物加工施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No30 飯田市南信濃夜川瀬特産物加工施設 【宮沢観光課副参事説明】

※質問、意見なし

No31 上村まつり伝承館「天伯」

No32 上村山村ふるさと保存館「ねぎや」 【池戸美術博物館副館長一括説明】

※質問、意見なし

No33 飯田市南信濃民芸等関係施設 【池戸美術博物館副館長説明】

※質問、意見なし

全体を通して質問意見

(西塚委員)

収入のところ、指定管理料が出ている施設と出していない施設がある。収入があれば指定管理料は出さないということか。何か基準があるのか。指定管理料が0円のところと、例えば南信濃民芸等関係施設は230万円となっている。

(塚平財政課長)

施設の運営として、自らの収入をもって運営が可能であるものはそれを尊重する。飯田市の指定管理施設は全部で96施設と申し上げたが、約半分はそういった形で運営している。それ以外は人件費を中心として必要経費相当額を指定管理料として支払っている。

(林郁夫委員)

2点お願いしたい。まず1点は、利用状況及び決算状況に単位 円を入れていただきたい。

2点目は、検討表の構成について、指定管理者側の課題と考えている部分を入れていただきたい。例えば、施設の老朽化であるとかそういった問題はここにも散見されるが、これからもっと増えてくると思う。そうなるこそほどの程度の改修が必要なのかということになると思うし、改修費用をどちらがどういうふうに負担するのが必ず今後の課題になってくる。現状の施設として運営者側が考える中で、改修費用がどの程度必要だとかが出てくれば論点が明確になる。今後その施設の改修費があまりにも多くなるとすれば、そこに存続可否の問題もあると思うし、集約化や長寿命化の措置が必要になると思うので、長期的な課題がわかるような形に表していただきたい。人材不足、人手不足の問題もこれから出てくるのではないかと思う。運営者側の課題として、施設の老朽化であるとか、あるいは人材が確保しにくくなってしまっているのこの業務は縮小せざるを得ないとか、そういうところが検討表に出てくれば論点が明確になってくると思う。

(塚平財政課長)

1点目について、表記はすぐ直す。2点目は、指定管理施設だけではなく、飯田市の所有する施設をどうしていくかという公共施設マネジメントの中の肝の話で、的を射たご意見であり、私どもも今後飯田市が市の施設として本当に持っていきべきものなのか、いくらお金がかかるのかという部分が非常に頭の痛い問題。先ほどから公共施設マネジメントの優先検討施設という言い方をしているが、飯田市が所有している全施設について、所有した建築年から減価償却、年間のコストなどの調査を始めている。それらを基にして、その施設を維持していくといくらかかるか、全て精査している。今年度最終の委員会で優先検討施設の話をするとなっているが、多少そのきっかけをお話できるかと思っている。

運営については、今後この施設をどうしていくか指定管理者との関係もあるが、来年度の当初予算段階で施設の修繕も含めて直近ではそういったこともやる。ただ長い目で見れば、その施設が本当に必要かどうか根本的なところを協議して、維持するのか廃止するのか統廃合するのかを含めて検討を始めている。問題意識を持って取組を進めているので、今しばらくお時間をいただきたい。

(下平会長)

施設によってはご意見も出ているので、その点を踏まえて今後の指定管理者制度の定着に向けて行政も頑張っていただきたいと思う。つい数年前に、向こう40年間で建物、道路、橋梁の維持管理費が、毎年117億円くらいかかるというような話を聞いている。こういったことは、市民にもきちんと伝えてわかっていただくと、行政運営がうまくいくのではと考える。これからは、人口が減少するということと、対外的にも輸出、輸入など難しい問題があつて経済がどうなるかわからない状況にある。是非とも堅実な行財政改革をしていただければということで終わりにしたい。長時間に亘りご協力に感謝する。

6 その他

※事務連絡

(木下本部長)

本日は長時間に亘り協議していただき感謝申し上げます。いただいたご意見は今後の取組みにしっかりと反映させていく。今後ともよろしくお願ひしたい。

7 閉会